



広島国道事務所からの
お知らせ

一般国道2号の歩道工事における鋼製透水性蓋の施工不具合について
(広島市安芸区中野東地先)

一般国道2号の安芸区中野東地区において、下り線側の歩道路面に2箇所の歩道路面陥没（平成23年6月29日と7月29日）が発生しました。

※第3者（歩行者、自転車）からの被害報告はありません。

このことを受けて、路面陥没した2箇所の現地調査・補修と当該工事の請負者へのヒアリング及び既存資料の調査を行った結果、どちらの路面陥没箇所も施工不具合によるものであることが判明しました。

9月末までに陥没箇所の補修が完了したことにより、当該工事の請負者に対し損害賠償の請求を行いました。

なお、他の区間において陥没等の不具合は発生していませんが、引き続き現地調査を実施する予定です。

- 場 所 一般国道2号 広島県広島市安芸区中野東地先
下り線側の歩道
- 不具合の内容 平成23年3月31日に完了した工事で、鋼製透水性蓋を施工した箇所の歩道路面が陥没した。

●問合せ先

国土交通省中国地方整備局 広島国道事務所

【工事担当】交通対策課長 藤田 修

【広報担当】計画課長 樋野 義周

TEL (082) 281 - 4131 FAX (082) 286 - 7897

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/index.html>

道の相談室 0120-106-497

こうせいとうすいせい
鋼製透水性蓋の不具合について

■工事名：国道2号中野東地区外歩道整備工事

■工期：平成22年10月28日～平成23年3月31日

■請負者：瀬戸内建設株式会社

■経緯：平成23年3月31日 工事完了

平成23年6月29日 歩道路面の陥没を発見（第3者からの通報）

・箇所：一般国道2号 324k280付近

・穴の大きさ：5cm×30cm

平成23年7月2日 陥没箇所の修補完了

平成23年7月29日 歩道路面の陥没を発見（職員が現地調査時に通行者から通報を受け確認）

・箇所：一般国道2号 322k020付近

・穴の大きさ：10cm×20cm

平成23年7月29日 応急補修

平成23年9月27日 陥没箇所の修補完了

平成23年7～10月 陥没の原因調査（施工業者ヒアリング等）

平成23年11月～ 引き続き陥没箇所以外の箇所について調査（予定）

■原因：請負者の施工管理の不備が原因。鋼製透水性蓋の設置の際に、本来、コンクリートであるべき既設水路の側壁部分を木材や砕石で代用したため、その箇所の蓋がずれ、舗装面が陥没した。

■位置図

写真①：歩道路面陥没状況
(322K020付近 下り歩道内)



写真②：鋼製透水性蓋イメージ図

